

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		地域・家庭との連携により 夢と志を持って生きる力を育む学校
(2)	育みたい生徒像	<p>○知・徳・体のバランスの取れた生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向け、目的意識を持ち主体的に学習や学校活動に取り組む生徒 ・正義感、規範意識、自他の生命の尊重と他者への思いやりの心を持つ生徒 ・生涯にわたりたくましく生きることができる健康な体や体力を持った生徒
	ありたい教職員像	<p>○四日市四郷高校の職員であることに使命感と誇りを持って職務に取り組む教職員集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な校務運営と課題解決のため、コミュニケーションとチームワークを大切にする教職員 ・生徒の社会的自立と進路実現に向け、情熱と主体性を持って指導に取り組む教職員 ・学校目標実現のため、地域や保護者と連携した取り組みや実践活動を行う教職員 ・自ら課題の発見に努めるとともに、自己の指導力向上に取り組む教職員 ・教員数の減少が続く中、変えるべきものと、変えるべきでないものを冷静に識別し、勇気を持って改革への実践的取組ができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた環境で楽しく興味深い授業が受けられること。学力を伸ばせること。部活動を充実させて、熱心な指導を受けられること。社会に通ずる礼儀・マナーを身につけること。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、社会において必要な生きる力（知識と技能）を身につけること。 ・希望する進路を実現すること。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な教育目標を示すとともに、多様な生徒を受け入れること。丁寧で細やかな指導と、確実な進路を保障すること。 <p><地域住民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共のマナーを守ること。 ・地域の行事等を通して地域との交流を深め、活性化に貢献してくれること。 ・災害時における支援の担い手として活躍すること。 	
	(2) 連携する相手	<p>連携する相手からの要望・期待</p>

<p>と連携するうえでの要望・期待</p>	<p><保護者及び学校関係者> 様々な情報の提供。学校との信頼関係。 <地域住民> 地域へのボランティア活動や地域の行事等への参加。 <中学校> キャリア教育の観点での協力。更なる信頼関係。 <企業・大学等> 社会人としてふさわしい知識、態度の定着、向上。高等学校レベルの学力の習得。</p>	<p><保護者及び学校関係者> 教育活動への理解、協力と積極的な関わり。 <地域住民> ボランティア活動や地域行事等を通じての生徒の育成。 <中学校> 義務教育レベルの学力の定着。キャリア教育の観点での進路指導。 <企業・大学等> 就業体験やオープンキャンパスの機会創出と受け入れ。就業・入学前の事前指導。</p>
<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響で、本年度は地域での各行事の実施が難しい状況であったが、地域とのつながりを大切にし、地域の行事等に参加、協力をお願いしたい。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、教育活動に様々な制約や、対応が必要であった一年だったが、引き続き感染症対策に取り組んで教育活動に取り組んでいただきたい。</p>	
<p>(4) 現状と課題</p>	<p>教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多くが落ち着き、コースの特色をいかした学習に取り組んでいるが、主体的に学習活動に取り組む者は、まだ限られている。 ・基礎学力の不十分な生徒が多数いる。これまでの実践に加え、オンライン教育の併用や、学校内の業務の見直しをはかることで、より多くの時間を生み出し、この課題を解決していく。 ・進路指導部や学年が連携し、十分に進路決定に向けた選択肢を示しているが、進路決定に向けて早期から自ら行動できない生徒が多い。また、新型コロナウイルスに関わって、生徒の進学と就職の状況に変化が生じる可能性がある。それらに対し、早期に対応し、社会状況の変化に対応した進学指導を行う必要がある。
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5年、10年後の四日市四郷高校の未来を見据えた学校づくりを念頭に入れ、学校の魅力を中学校や地域に向けて効果的に発信していく必要がある。 ・組織間の連携体制が不十分なため、特定の教員に負担がかかっている。現状にそぐわない行事や業務を見直し、分掌同士の連携を密にする必要がある。 ・クラス減に対応しながら、時代のニーズに合った内容を提供することを考えていく。カリキュラムの改編やコースにおける教育内容の精選を継続して行う。 	

3 中長期的な重点目標

<p>A 教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①学習意欲の向上と基礎学力の定着にむけた授業改善・授業研究等の推進。 ②学習習慣の定着と主体的進路選択が行える力を育成するキャリア教育の充実。 ③規範意識の向上と道徳心の醸成。豊かな感性の育成。 ④運動知識の拡充と健康管理上の実践力の向上。 ⑤地域に根ざした教育活動の推進と特色を備えた教育活動の実施。
---------------	---

- ①時代や社会の要求に応え、持続可能な教育活動を行うためのカリキュラムマネジメント。
 (コース制の再編・見直し、新学習指導要領や入試改革に対応した教育課程の作成等)
- ②家庭や地域とのさらなる交流による、開かれた学校づくり。
- ③組織、職員間の連携体制を構築し、組織力向上と業務内容の見直し等による過重労働の解消。
- ④コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成及び、不祥事根絶に対する職員個々の意識改革。

4 本年度の行動計画と評価 (各分掌、教科の行動計画と評価については、別冊で記載する。)

A 教育活動

項目	取組内容・指標	結果
①学習意欲の向上と基礎学力の定着	<p>【授業規律の確立】 (取組の指標) ・授業開始時の持ち物チェックの徹底 ・授業見学週間時の巡回 (成果指標) ・年2回実施の学習アンケート「授業では、落ち着いた気持ちで勉強できている」項目で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が85%以上。昨年度は83.8% ・授業見学週間時に各教員週1時間巡回の時間を設ける。</p>	
	<p>【基礎学力の定着】 基礎力診断テストを実施し国語・数学・英語でD3層を減らす。 (取組指標) 学年・教務が協力し、D3層への補習を行う。 (成果指標) 補習への参加を100%とし、D3層の人数を前回よりも減らす。</p>	
	<p>【教員の授業力向上】 (取組指標) ・年2回の授業公開週間を活用し、教員間の授業見学を行い、授業改善、授業研究に努める。並行講座等における授業展開の情報共有を密に行い、生徒の学ぶ意欲を向上させる題材を追求していく。 ・授業見学週間時に各教員週1時間巡回の時間を設ける。 (成果指数) 年度末に生徒満足度アンケートをとり、満足度90%以上。</p>	

【学習習慣の定着】

(取組の指標)

- ・ 学びの基盤となる「読む力」を育成する。(読む時間の確保と習慣づけ) するために、読書案内を月1回以上行い、学級文庫の充実(各クラス10冊以上)を図る。
- ・ 生徒の主権者としての意識を高め、主体的に考え行動できるよう、政治的関心を高める授業を行う。
- ・ 長期休暇の際の宿題および定期考査時の提出物に主体的に取り組む姿勢を育み、基本的な学習習慣の確立を図る。提出物の質を向上させるように、中身の確認を行う。
- ・ 考査1週間前に学習計画表を配り、計画を立てさせるとともに、進捗度合いの結果を記入し、テスト終了後に提出させる。

(成果指標)

- ・ 年2回実施の学習アンケート「勉強がもっとできるようになりたいと思う」項目で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が平均90%以上。(昨年度平均88.3%)
- ・ 学年末考査において、提出期限を守ってきちんと提出を出来る生徒が90%以上。基礎力診断テストで「学習カレベル」の欄の数値をダウンさせない。
- ・ 学習計画表の提出率が全体の90%以上。

主体的な進路決定のために

【1学年】

進路(就職・進学)の意識付け

(取組指標)

- ・ 適性診断を実施し、結果のフィードバックを行う。
- ・ 進路資料室やオンラインオープンスクールの利用を促す。
- ・ 進学希望者には定期的に集会などを行い、学習の進め方や情報の収集方法などの指導を行う。

(成果指標)

- ・ 年度末に進路資料室利用状況アンケートをとり、利用者が学年の20%以上を目指す。

【2学年】

- ・ 自分の進みたい進路(就職・進学)を具体的に考えさせる。
- (取組指標) 進路希望調査を年度初めと年度末に2回実施し、変化があった生徒については随時面談を実施する。
- 進学希望の生徒には、長期休みのオープンキャンパスへの参加を勧める。

(成果指標) 進路未決定者5%以下。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年制大学進学希望者に対して (取組指標) 進路指導部と連携し、課外、模擬試験を実施する。 (成果指標) 課外への参加者5名以上。模擬試験受験者5名以上。 【3年生】 ・ 保護者との連携を密に行い、早い段階からの受験校の精査をしていくことで、生徒の可能性を広げることを提案する。 (取組指標) 各担任に、三者懇談前に模試の結果、指定校の仮調査等を踏まえて情報伝達を行い、生徒本人の力と、それに見合った受験校を整理した上で三者懇談を行ってもらおう。 (成果指標) 1学期の三者懇談前に一度、学年会を持ち進学希望生徒の情報共有をする。 ・ 進路指導部と連携し、就職希望者に対して全体のガイダンスおよび個別での面談・面接指導等を通して受験企業を決定する。また就職実現コーディネイターとの面談を推奨する。 (取組指標) 各担任が面談や就職希望企業の仮々調査を通して、本人や親の意思確認を行い、進路指導部と相談しながら迷っている生徒には適性検査や就職実現コーディネイターとの面談結果などから受験先企業を提案する。 (成果指標) 就職希望者の内定率98% 内定辞退0 ・ 進学希望者対象に校外模試および日常的な課外授業を行い、自身の進路希望実現に向けた情報収集および学力の向上を図る。 (取組指標) 課外授業を行い、入試に対応した知識技能の習得を図る。また、課外授業においては、クラスの垣根を越えて、生徒それぞれの進路希望に応じた受験方法等を面談し、得意科目を生かした受験方法を提案していく。 (成果指標) 進学希望者の、志望校合格率90%以上。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③ 規範意識の向上と 道徳心の醸成</p>	<p>道徳心の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき講座(学年別講演会)を実施し、自他ともに心と体、そして命を大切にする気持ちを育てる。 (取組指標) 年1回いきいき講座を開催する。 (成果指標) 生徒満足度80%以上 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人として身につけておくべき習慣を身につける。 図書部と連携し、生徒の主体的な創作・表現活動の「場」、多様な文化に触れる「場」を提供する。 ・ 生徒の人権意識向上のため、人権 L H R を実施する。人権 L H R は、授業力向上のため公開とする。 (取組指標) 人権 L H R は各学年学期毎に 1 回実施。授業公開は年 1 回。 ・ 職員の人権意識向上のため、校内での職員人権研修を実施するとともに、校外も含め全職員へ研修・研究会への参加を積極的に促す。 (取組指標) 校内での職員人権研修は年 1 回。校外も含め職員 1 人 1 回以上参加を促す。 (成果指標) 全ての人権 L H R の参加生徒、職員研修の参加職員の満足度 80% 以上 ・ 校内の美化に努める。 (取組指標) 生徒全員が掃除活動にあたり、割り当てられた区域以外にも気がつけば清掃を心掛けるようにする。 (成果指標) 年度末のアンケートを通じて、具体的にどの場所をどのように清掃して、以前より改善がはかられたかを調べる。清掃区域の改善報告が区域で半数以上を目標とする。 	
	<p>規範意識の向上</p> <p>【1年生】</p> <p>ルール、マナー、協調性、思いやり</p> <p>(取組指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会に時間までの集合完了。室長が点呼・報告を行う。 ・ クラス役員や日直・掃除当番などの仕事をきちんと行い、クラスに貢献するよう日頃から指導する。 <p>(成果指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末に生徒に振り返りアンケートをとり、「クラスの役員・委員としてクラスのために働けた」と答える者が学年の 80% 以上。 ・ 年度末に生徒に振り返りアンケートをとり、「担当となった掃除をしっかりとできた」と答える者が学年の 80% 以上。 <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の確立 <p>(取組指標) 礼儀、言葉使いを正し、公共心と安全な生活に必要な能力と態度を育てる。毎日の H R ・ 授業を通して、あいさつや丁寧な言葉使いの大切さを説き続ける。</p> <p>(成果指標) 1 年間皆勤賞達成者 40 名以上。学期遅刻 5 回以上の生</p>	

	<p>徒が各学期5名以内。交通事故数を年間5名以下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会など団体行動を通して、ルールやマナー等を守る規範意識の習得、協調性と他者を思いやる態度を身につけ、制服の正しい着こなしを遵守させる。 <p>（取組指標）毎日のSHRや授業、集会を通して、時間厳守の徹底や化粧チェック・制服の着こなしの指導をおこなう。</p> <p>（成果指標）年度末に生徒に振り返りアンケートをとり、校則の遵守、制服の正しい着こなしができた生徒が学年の85%以上。教育的指導措置対象者5名以下。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行に向けて集会などで団体行動を身につける。 <p>（取組指標）集会へは休み時間内での集合を完了し、室長が点呼、報告を行う。</p> <p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の確立を目指し、公共心と安全な生活に必要な能力と態度を育てる。 <p>（成果指標）①3年間皆勤達成者20名以上を目指す。</p> <p>②学期遅刻5回の生徒が各学期5名以内。</p> <p>③交通事故数を年間5名以下。</p> <p>【生徒指導】</p> <p>（取組指標）</p> <p>スカートの改竄や折り曲げ、化粧をなくすため、毎朝の登校時や集会などで指導をする。授業時やそれ以外でも取り組んでもらえるよう職員全体に働きかける。</p> <p>（成果指標）朝の登校時において注意する生徒が少なくなっている中、今年度は生徒に意識が改善されたかをアンケートで調べる。生徒の半数以上の改善意識を目標とする。昨年度達成されなかった化粧落としの購入代金の半減をもう一度目標とする。</p>	
<p>理上の実践力の向上</p> <p>④運動知識の拡充と健康管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習にふさわしい健康的な環境を整える <p>（取組指標）定期健康診断、定期環境衛生検査、職員校内研究の実施やSC、発達障がい支援員、SSWの活用と連携、ケース会議の開催</p> <p>（成果指標）健康診断生徒受診率90%以上</p>	
	<p>感染症予防対策に取り組む</p> <p>（取組指標）感染症に関するたよりの発行、手洗い・うがい・マスクの励行</p>	

	<p>保健の学習を普段の生活に取り入れ実践できるようにする。</p> <p>体育では様々な場面で理論と実践を繰り返し行う。</p> <p>（取組指標）自分の健康状態を把握し学習したことを日常生活に繋がられるようにする。健康状況の確認や運動外傷防止の注意喚起を授業開始時に徹底して行う。</p> <p>（成果指標）日常から生活習慣を正し、体調不良の理由による見学・欠席を減らし単位不認定者を0名にする。体育に関わる救急車要請を0件にする。</p>	
⑤ 地域に根ざした教育活動	<p>地域に愛される学校となるよう、地域（四郷地区・高花平地区・笹川地区）の文化祭等へ美術・書道作品の展示出品や音楽演奏発表を積極的に行う。本校の特色である芸術コース発表会を1月に実施し、地域の方々や四日市市民にご来場いただき四日市四郷高校の特色ある教育活動を広く理解してもらう。</p> <p>（取組指標）四日市記者クラブ等へ足を運び、新聞などの広報機関への宣伝依頼を行う。</p> <p>（成果指標）コロナ禍ではあるが、工夫して1月の芸術コース発表会を実施する。</p>	

B 学校運営等

① カリキュラム マネジメント の再編	<p>入試の状況などを考慮し、人数の比率についてなど、コース制再編に向けて、継続審議を行っていく。</p>	
② 家庭や地域との さらなる交流	<p>（取組の指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業を実施し、各教員の授業力を向上させる。 <p>（成果指標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の授業見学週間に合わせて、保護者、近隣中学校、高校に授業を公開する。参加状況やアンケートの結果を分析し、次年度の公開のやり方を改善していく。 	

	<p>コロナ禍における地域との交流のやり方を模索する。 (昨年度は、地域のイベントについては、中止や不参加で過ぎていった。)</p> <p>(取組指標) 今年度は、オンラインやビデオ配信等、条件付きの参加が可能かどうかを模索する。</p> <p>案内プリント・絆ネット・ホームページで情報発信をする。 (取組指標) 行事は1ヶ月前に案内する。重要な案内プリントの内容は、きずなネットでも念を押す。 (成果指標) ホームページを半月に一度の頻度で更新する。</p> <p>・報道機関への資料提供 特色ある学校行事、地域と連携した行事等について、報道機関へ資料提供を行う。</p>	
<p>③組織力向上と業務内容の見直しによる過重労働の解消</p>	<p>働き方改革の推進</p> <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総勤務時間の縮減に向けた取組による時間外労働時間（上限対象時間）の削減 ・各月に定時退校日設置（昨年度実現率75.1%） ・休暇取得日数の向上（昨年度平均 17.8日）（1月末） ・放課後開催会議を60分以内に終了する（昨年度100%）（※作業的な会議を除く） ・学校休業日の設置（昨年度取得率 76.6%） ・週1回以上の部活動休業日の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・上限対象時間の年間累計360時間以内、および、月累計45時間以内の実現(全常勤職員) ・定時退校実現率 80%以上 ・休暇取得日数平均19日以上 ・放課後開催会議を60分以内終了の実現率90%以上 ・学校休業日の休暇取得率85%以上 ・週1回以上の部活動休業日の設置を全部活動で実現 	

<p>④ コンプライアンス意識の向上と不祥事の根絶</p>	<p>コンプライアンス意識の向上と不祥事の根絶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼される学校であるための行動計画の作成、見直し ・コンプライアンス自己診断シートによるチェックと職員研修の実施 <p>保護者や業者からの問い合わせに対して</p> <p>(取組指標) 内容を共有し、FAQを作成して、主任以外でも対応できるようにする。同様の問い合わせには誰もが答えられる。「担当でないので分かりません」と返答しなくていいようにする。よくある問い合わせについては案内文に盛り込んでおく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミスは起こるものとの前提で、組織として業務に取り組み、職員間のチェック体制を確立するとともに、万一ミスが起きた時も個人で抱え込み大事に至らないよう組織として善処する。 	
-----------------------------------	--	--

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	
<p>学校運営についての改善策</p>	